

価格安定課 NEWS

～がんばれ肉牛! みんながアイデア を出し合っ～

(平成18年度地域肉用牛振興特別対策事業 の推進について)

新潟県産和牛の生産拡大とブランド化を推進するために平成16年度から取り組んでいる本事業は肉用牛繁殖経営の拡大につながるような地域の実情に即した創意工夫に対して肉用牛集団等に助成を行っています。(助成額は事業費ベース)

1. 繁殖牛の牛群整備や増頭

牛群を改良するために高い育種価を持った優良繁殖雌牛を導入する場合には1頭当たり164～222千円を助成します。(1集団当たり10頭以内)

繁殖牛10頭以上規模の中核農家を育成するため増頭1頭当たり160千円を助成します。この事業の繁殖牛は自家生産の雌牛を保留する場合にも適用されますが、1戸当たり10頭以内とします。



中核担い手による繁殖牛増頭

2. 遊休農地等活用放牧推進

遊休農地や里山を繁殖牛の放牧に活用することで、飼養管理の省力化や、購入飼料費の節減、草刈労力の低減を図ります。また放牧することで牛が健康になり、繁殖成績の向上も期待できます。耕作放棄地など小面積でも設置や移動が簡単な電気牧柵と電牧器、繁殖や衛生対策のために牛を保定する連動スタンション、簡易な給水施設など放牧利用のための施設や器具などの整備に助成します。

3. 生産性向上施設等整備

簡易施設(電柱牛舎、パイプハウス牛舎、簡易キット牛舎等)は建築確認申請の必要のない単価2万円/㎡以内の簡易な構築物で、繁殖牛の増頭につながるものです。1集団当たり250万円を限度としています。

器具機材の整備では換気扇や削蹄棒、除角器、洗浄機その他飼育環境を改善して生産性向上を図ろうとするものです。簡易施設、器具機材は肉用牛集団が構成員に貸し付けます。

また放牧牛の衛生対策としてダニ駆除剤等の共同購入も助成対象としています。

4. 地域受精卵移植推進

受精卵移植を利用して和牛子牛の生産を拡大しようということで、借り腹契約による移植の増加頭数に対して助成する受卵牛拡大推進費、新潟県畜産研究センターが配布したブランド和牛受精卵の娘牛から採卵する場合の供卵牛採卵推進費、受精卵移植協議会の研修等に助成する活動推進費があります。事業の実施集団は受精卵移植推進協議会等です。



遊休地の放牧利用

5. その他

新潟県産和牛のPRや消費拡大促進につながる交流会の開催、飼養管理技術の高度化を図るための実証調査なども事業の助成対象となります。

さらに肉用牛集団の創意工夫を生かした事業計画の提案があれば、当協会か各地域振興局の農林振興部に御相談ください。